



大分県立竹田高等学校
関東同窓会
報
第66号

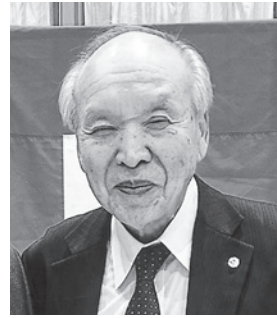
発行者・会長 都 俊生
編集者・委員長 衛藤 淳
発行所・関東同窓会事務局
〒194-0013
東京都町田市原町田4-17-20
電話 090-2646-4808

<https://kantoutaketa.org/>

恩師からの便り

足立 一馬 先生

昭和45年～昭和55年 英語科教諭



足立一馬先生近影

竹田高等学校関東同窓会「臥牛」の「恩師からの便り」のコーナーに書かせていただけることを光榮に思っています。

私は竹田高等学校が初任校です。伝統ある竹田高等学校に勤めることができたことは私の誇りです。竹田高等学校に勤務した10年間の思い出はたくさんあります。

難攻不落の日本の名城「岡城」、竹田高等学校伝統の42kmを走る(歩く)「競歩大会」(現在は、入田の竹田養鱈場までの往復10kmを走る「竹田名水マラソン」になっています)。学校の林の下刈り(現在は行われていません)、竹田高等学校のグラウンドに降った大雪(約40cm)がなかなか融けず、しばらくグラウンドが使えなかったこと。

この頃は竹田市には何度か大雪が降りました。今は、積もるような雪が降ることは減多ありません。温暖化を実感します。

1982年の大雨では、竹田市で大きな被害が出ました。旧竹田小学校前の城北町では道路

沿いの家が玄関先まで浸水しました。私は野球部の生徒を連れて水害にあった家の片づけの手伝いに行きました。現在は竹田市内を流れる稲葉川の河川敷はきれいに整備され、春には桜の名所にもなっています。

竹田高等学校伝統のストーム(戦い勝てり美酒を酌みて讃えん君が御名 光涼しく月照れば喜びに満つ臥牛城)。少人数でも大人数でもできるので、卒業してもクラス会や同窓会があれば必ずストームをしていました。大分市内の中心部の飲食店が多い都町にあるジャングル公園も竹田高等学校の卒業生の皆さんが大きな輪になってストームをしている光景を見かけました。私もストームの輪に加わったことも何度



上：生徒と一緒にストーム！(昭和52年卒業アルバムより)
下：前列左が足立先生

かあります。素晴らしい伝統だと思っています。

竹田はトンネルの町としても有名です。竹田市内に入るにはどの道を通っても必ずトンネルを通ります。レンコンの町とも言われています。竹田駅の北側にある約40mの絶壁を流れ落ちる「落門の滝」、扇森稲荷神社(狐頭様)、芹川ダム、そして忘れてならないのが竹田高等学校の正門をでたところにある吉良食堂(現在は店を閉めています。竹田の方が住んでいます)。竹田高等学校の卒業生の多くの人達はお世話になったと思います。吉良食堂のおばちゃんは、本当に優しい素晴らしい人でした。

そして、私にとって忘れられない先生は大分商業高等学校から竹田高等学校に転動してきた高校野球の名将松田瑞雄先生です。その頃の竹田高等学校の野球部は軟式野球部でしたが、松

田先生が転動してこれられるというところで硬式野球部になりました。松田先生の下で私は野球部長を務めました。松田先生の厳しい指導を見て私は震えました。守備練習の先生のシートノックは神技でした。キャッチャーにボールをトスさせて、そのボールでキャッチャーフライを上げさせるまさに神技でした。

42kmの競歩大会で生徒と一緒に走っていた日高先生、250ccのメグロのバイクに乗って学校に来ていた伊東英俊先生など、名物先生がたくさんいました。

私は今でも竹田高等学校卒業生との会があります。竹田高等学校九人の会、竹田高等学校五人の会などがあり、時々、大分市内の飲食店で飲み会をしています。教師冥利に尽きます。教師で良かったと思っています。年を取ると、人と会って食べて飲んで話をすることが一番の楽しみです。

私は一昨年の2月に脊椎管狭窄症の手術をし4か月間入院しました。まだまだ手術前のように歩いたり走ったりすることができません。歩く努力をして、生きている間にぜひ、竹田高等学校関東同窓会に出席させてもらいたいと思っています。竹田高等学校関東同窓会の皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈りしてあいさつとさせていただきます。

総会・懇親会の
出欠申込はこちらへ




関東同窓会 創立40周年記念

作家・赤神諒氏 特別講演

2026年6月20日(土) 東京プリンスホテル (11:15~)

竹田 高校
関東同窓会

40周年記念総会・懇親会を 盛大に開催します!



当番幹事代表
沓掛 洋三さん
(昭60年卒)

本年度の竹田高校関東同窓会の開催は40周年の記念すべき開催となります。

本開催にて特別な催し物を企画しましたので、関東の竹田高校卒業生の知人もお誘い合わせの上、ご参加申し込みをいただくと幸いです。

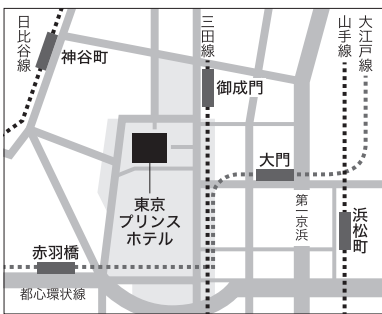
企画第1番目は、第25回大藪春彦賞受賞小説『はぐれ鴉』(集英社文庫刊)の作者 赤神諒氏による講演です。

『はぐれ鴉』は赤神諒氏の著作を原作としてTOS開局55周年記念として神尾楓珠主演、椎名桔平が仇役にてドラマ化、昨年時代劇専門チャンネルや今年1月にBS11でも放送され好評を得ている時代劇ミステリーです。1666年(寛文6年)の豊後国・竹田藩が舞台ですので故郷に思いを馳せながら講演を拝聴できる、またとない40周年記念に相応しい企画だと思えます。この講演は2月の衆議院選挙にて比例代表で当選された白坂重紀さん(昭60年卒)のご紹

介で実現した企画で、事前にも小説を一読されると、なお一層講演が有意義になること間違いなしです。

赤神諒氏の著作には、『大友の聖将』や『立花三将伝』など、九州を舞台にした戦国・時代小説が多く存在していますので、ご興味のある方はぜひお楽しみ

第40回 総会・懇親会	
日時	令和8年6月20日(土) 11:15~15:00 (受付開始10:30~)
総会	11:15~12:00
特別講演	12:00~12:40 [講師] 赤神諒氏
懇親会	13:00~15:00
会場	東京プリンスホテル 東京都港区芝公園3-3-1 TEL03-3432-1111



小説『はぐれ鴉』の作者・赤神諒氏



赤神 諒氏

想で、次々と作品を発表し大きな実績を上げています。赤神氏ならではの講話に期待が集まります。

赤神諒氏は特定の地域を題材にして小説化し、その地域の活性化に貢献するという新しい発



小説『はぐれ鴉』
(集英社文庫刊)

ください。会場での赤神氏の書籍の販売はありませんが、所持されている本を持参されれば、直筆サインをいただけると思います!

2番目の企画は、昭和歌謡曲メインのバンド「東京ウルトラ楽団」による生演奏です。略して「ウル団」と呼ばれ、レパトリリーは1960年から1980年代の昭和歌謡から演歌まで幅広く、都内を中心にライブ演奏など活動中。今回は竹田に縁の

ある楽曲の演奏も検討中です。バンドのドラム担当は昭60年卒で当番幹事の足達真一さんで、彼の熱意で実現した企画です。とても懐かしい昭和歌謡曲を生演奏でお楽しみいただけたらと思います。

第3の企画は、物販販売です。例年同様に故郷にちなんだお菓子など、普段関東では目にしない品物を取り揃えておりますので会場にてぜひご覧になり、よろしければご購入ください。

以上、当番幹事一同で今年度の同窓会を皆さんの記憶に残る記念開催したいと思いますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

昭和歌謡を堪能 東京ウルトラ楽団!



東京ウルトラ楽団
一番右・足達真一さん
(昭60年卒)

昭和歌謡に特化したバンド活動で活躍する「東京ウルトラ楽団」が関東同窓会の懇親会に登場します。参加者の多くの方々へ共感を呼び起こすことでしょう。ご期待ください。

会長
あいさつ

関東同窓会創立40周年を迎えて



竹田高校関東同窓会会長
都 俊生(昭44年卒)

関東同窓会は本年、創立40周年を迎えました。ふるさとを離れ、関東の地に集まった同郷の仲間が、心を許して語り、親睦を深める場として本会は着実に歩みを重ねて参りました。会報誌「臥牛」を読み返して

竹田高校同窓会・ 新会長 工藤厚憲さんが就任



竹田高校同窓会
新会長
工藤 厚憲さん
(昭52年卒)

このたび、平成20(2008)年より18年間にわたって同窓会長を務められた服部眞一さんに代わって、昭和52年卒の工藤厚憲さんが会長に就任されました。

みても、母校とふるさとに対する思いが随所に溢れており、仲間としての強い絆こそが、関東同窓会の求心力となってきたことを、改めて実感させられます。さて、このような記念すべき節目において心苦しいのですが、総会・懇親会の参加費を従来の8,000円から10,000円へと改定させていただきました。物価高騰により開催費用が増大する中での苦渋の決断であります。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。この30年、日本経済は長期的正式には7月の総会において承認を受けますが、この4月より新体制で始動となります。

【「あいさつ」岡城の桜が満開となっております。春の訪れを告げる、岡城桜まつり、今年で50回目となる大行列が、4月4日に開催予定です。この度、歴史と伝統ある大分県立竹田高等学校同窓会長をさせていただきます。昭和52年卒業、第29期生の工藤厚憲と申します。長年にわたり同窓会長としてご尽力いただきました服部前会長の後任として、精一杯努力してまいり所存でございますので、皆様方の絶大なご支援とご

な低迷を経験し、国民の平均所得水準も伸び悩んでいます。また「自己責任」や「成果主義」といった価値観が広がる中で、将来への不安や閉塞感が強まっているのも事実です。一方で、科学技術の進歩は目覚ましく、特に情報通信、医療、AIなどの分野は急速に高度化し、それらを理解するには専門的知識が不可欠な時代となりました。私たちは、固定電話さえ一般的ではなかった時代から、スマートフォンが生活の中心となる時代へと移り変わる過程を経験してまいりました。社会は便利になりましたが、その一方で人間の関係の希薄化が進んでいるのではないかと、う懸念もありません。機種変更や通信環境の変化により、友人・知人の連絡先を把握しづらくなる状況も生じています。関東同窓会においても、同級生どうしの繋がりが以前に比べて弱まっていると感じられる場面が多々あります。今こそ、同級生との絆を改めて築き直すべき時期ではないでしょうか。学年幹事の皆様にはお手数をおかけいたしますが、ぜひ同級生ネットワークの再構築にご協力いただきますようお願い申し上げます。少子化等、様々な要因により、竹田高校は生徒数が激減、定員割れの状態が続いており、部活動をはじめ学校運営に先生方も大変ご苦労されています。このような状況ですが、生徒たちは学業、部活動にたゆまぬ努力を重ね、いわゆる難関大学に合格、部活動にはたくさんの方の成果を残しています。それぞれの目標に向かい日夜頑張っています。伝統ある竹田高校を同窓生一丸となって盛り立てていきたいと思っております。2027年は開校130年の節目を迎えます。同窓生皆様の熱いご支援、ご協力をお願いいたします。

関東同窓会 LINE公式アカウント開設!!

コミュニケーション・ツールの定番「LINE」に関東同窓会の公式アカウントが開設されました。今すぐ「お友だちに追加」してください!!



友だち追加

@907ghtlc

LINE公式アカウントID



※Android端末は、カメラではなく「二次元コードリーダー」アプリをご利用ください。

40周年という節目を新たな出発点として、関東同窓会がこれからも会員相互の親睦を深め、母校とふるさとを支える存在として発展していくことを心より願っております。来年、母校・竹田高校は創立130周年を迎えます。このたび母校のご協力により、総会にご出席の皆様へ「大分県立竹田高等学校120周年記念誌」を配布させていただきましたことになりました。既にお持ちの方もいらっしゃるかもしれませんが、改めて母校の歩みを振り返る機会としてご活用いただければ幸いです。

2026年春 「役員会・幹事会」報告



幹事長
後藤 修
(昭50年卒)

令和8年4月4日(土)、銀座ブロッサム 中央会館にて、役員会・学年幹事会が開催され、以下の事項について協議を行いました。

■新役員体制について

令和8年総会時に役員の変更を迎えます。

新役員体制案（左表）が提出され、原案通り満場一致で役員候補が選出されました。総会の承認を経たのち、この7月から新役員体制の運びとなります。

■令和8年度関東同窓会総会・懇親会の開催について

【企画委員会】

企画委員会から、今年の総会・懇親会は昨年と同様に港区の東京プリンスホテル プロビデンスホールにて、2026年6月20日(土)に開催する予定であることが報告されました。

総会では、当番幹事である昭和50年、60年、平成7年卒の同窓生が、竹田を舞台にした時代ミステリー小説『はぐれ鴉』の著者である赤神諒氏をお迎えしての講演会を企画しました。

『はぐれ鴉』は江戸時代初期、豊後国（大分県）竹田藩で起こった大量殺人事件を発端に、復讐に人生を懸ける青年と仇敵との関係をドラマチックに描いた長編小説で、TOS開局55周年記念として既にドラマ化され、時代劇専門チャンネルやBS11で放送されました。合わせて懇親会では、当番幹事である昭和60年卒の足達真一さんが所属する「東京ウルトラ楽団」による懐かしい昭和歌謡曲の生演奏を披露する予定であることが報告されました。竹田に縁のある楽団の生演奏も検討中とのことです。

■各委員会報告

①関東同窓会の収支状況について

総務委員会から昨年の総会・懇親会について、参加者は186名（前年比4名増）で総会収入はほぼ予算案通りであったが、総会費用ではホテル支払いを除く項目は予算案通りに推移した

②組織拡大策について

①学年幹事に対する役員会・学年幹事会への参加依頼について
昨年秋の役員会・学年幹事会参加者は、役員19名に対し学年幹事の参加が6名（うち5名が役員兼務・実質1名）と少人数であったことから、学年幹事の学年幹事会への参加依頼を強力に行うこととしました。

③公式LINEアカウント開設

広報委員会からは会報誌「臥牛」の発行とホームページの運用状況の報告がありました。関東で活動している大分の県立高校同窓会で会報誌やホームページが本会ほど充実している例は珍しく、今後も会員相互の親睦を深めるべく取り組みことが再確認されました。

また「公式LINEアカウント」開設が提案され役員会の賛同を得られ、本年春に開設し活動を開始することとなりました。

②平成以降の卒業生への働きかけ

昨年の総会に参加された平成以降卒業の方々とLINEグループを作成したことから、これまで学年幹事がいなかった学年に対して学年幹事をお願いし、学年幹事会への参加及び総会参加への同窓生への働きかけを依頼し組織の拡大を図ります。

②今後の課題

平成以降の登録会員が少数にとどまることから、総会及び懇親会を仕切る当番幹事の確保に苦勞しており、その年代の確保対策が急務と考えております。

また「公式LINEアカウント」開設が提案され役員会の賛同を得られ、本年春に開設し活動を開始することとなりました。

新役員体制について(案)

★新任 ○兼任 2026.4.4

役職	氏名	卒業年
会長	辻 正太郎	昭和49
総務担当	内藤 賢一	昭和52
企画担当	栗田 信子	昭和41
組織担当	後藤 修	昭和50
広報担当	衛藤 淳	昭和52
幹事長	後藤 修	昭和50
副幹事長	戸林 知輝	昭和62
事務局長	山部 光男	昭和53
副事務局長	金子 知美	昭和53
	土元 登志子	昭和53
総務委員長	首藤 正幸	平成4
	内藤 賢一	昭和52
副委員長	山口 明	平成13
企画委員長	後藤 章仁	昭和52
	鈴木 敬子	昭和51
副委員長	鈴木 智子	平成2
	森 純洋	昭和58
組織委員長	佐保 哲郎	昭和54
	服部 真太郎	平成12
副委員長	堀 祐希奈	平成20
	衛藤 淳	昭和52
広報委員長	後藤 里見	平成5
	内田 威	平成5
副委員長	原田 早希	平成22
	高橋 忠士	昭和44
監事	水本 忠士	昭和48

相談役・顧問

相談役	氏名	卒業年
相談役	長吉 泉	昭和26
	佐藤 映之	昭和28
	用正 靖彦	昭和30
	松良 修二	昭和34
	菅 博敏	昭和40
顧問	菅 俊生	昭和44
	西 誠	昭和30
	加藤 興史	昭和33
	麻生 三郎	昭和35
	井手 得郎	昭和41
	後藤 猛士	昭和41
	田部 修士	昭和42
川口 弘展	昭和45	
	高橋 敏政	昭和46

母校の話題

2025(令和7)年度 新入生は82名 少数でも精鋭



大分県立竹田高等学校 教頭 小野 鉄次郎 先生

2025年度入学した1年生は82名という少人数の学年ですが、4月に実施した教育合宿では、これまでの学年以上の明る



1年教育合宿



さや元気の良さを発揮していました。令和9年に控える創立130周年に向けて、少数精鋭で頑張ってくれるものと期待しています。
5月には台湾の国立北港高級中学の生徒15名を本校にお迎えして交流会が開催され、歓迎行事に続いて本校生徒と一緒に授業を体験したり、茶道や書道にも挑戦してもらいました。本校生徒は想像以上にホスピタリ



台湾生徒との交流

ティを發揮してくれ、短時間でしたが双方の生徒にとって貴重な経験となりました。
5月から6月にかけて開催された大分県総合体育大会では、参加した各部が精一杯のプレーを見せてくれました。そのなかで山岳部(縦走競技)女子が3年連続の全国大会(インターハイ)への出場権を獲得しました。今年是全国的に暑い夏でしたが、本校生にとっても「熱い」夏でした。

3年生は前年度に続いて、阿蘇青少年交流の家で2泊3日の学習合宿に臨みました。いよいよ受験期の到来です。
部活動等では、全国総合文化祭(香川大会)への出場権を得ていた美術部門や書道部門、弁論部門に本校生が参加し、竹田高校文化部の名を全国にアピールしてきました。これらの行事には、いずれも同窓会からの温かいご支援をいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

夏の暑さが冷めやらぬ9月に開催されたのが、臥牛祭文化の部、体育の部です。特に文化の部では生徒会役員が主体となつて提案・活動する姿が顕著に見

られ、初めてキッチンカーを招いたり、体育館の音響や照明を外部の業者に委託するなど、校訓の「自律自尊」「進取研鑽」の精神を遺憾なく発揮してくれました。



臥牛祭・文化の部(キッチンカー)

10月、竹田市による本校生のための講演会(竹田から輝く! 未来人材創生塾)が本年度も開催されました。東京からDXを支援する株式会社Whiteの方を講師に招いて生成AIの活用について講演・ワークショップが行われました。生徒のなかには初めて生成AIに触れるものもいて、今後のVUCAの時代に生きる生徒にとって有意義な時間でした。

11月には毎年恒例の1年生全員が市内各所に竹灯籠を並べる「竹楽」奉仕作業がありました。現在高校のカリキュラムには「総合的な探究の時間」とい

う授業が週1時間あり、本校1年生はこの時間に地域課題の解決を柱とする地域探究を行っています。地域探究の際には竹田市役所の方々が全面的にバックアップをしてくださり、そのお陰で探究の過程でフィールドワーク等をスムーズに行うことができています。これらの地域を舞台にした様々な活動により、生徒たちは地域から支えられていることを実感しています。



「竹楽」奉仕作業

また同時に我々としては地域を支える人材としての自覚も芽生えてほしいと思っています。竹田高校は全国の様々な方々からご支援をいただいています。竹田市の豊後(大野市)の学校です。地域の方々から必要とされ、地域に貢献する人材を輩出することが本校の使命の一つだと考えております。

同窓会の皆さまには、平素より物心両面でご支援をいただいています。今後とも本校生へのご支援をどうぞよろしくお願いたします。

クラス会・同期会

珊瑚会はWebで繋がっています

新井千鶴子（昭35年卒）

昭和35年卒業の関東珊瑚会は昨年12月3日、東京駒込にある「六義園」での紅葉狩りに集い、晩秋のひとつときを楽しんで参りました。紅葉は正に見頃で回遊式築山泉水庭園は本当に素晴らしかったです。

吹上茶屋で池を眺めながらお抹茶を一服頂き、ゆっくりとした時間の流れを楽しむことが出来ました。散策後一行は山手線大塚で下車、日本蕎麦屋「長寿庵※」で昼食を。この「長寿庵」は竹田とゆかりのある方のお店だそうです。

本会の顧問に席を置く麻生三郎さんが長年当関東珊瑚会を率いてくださり、この度の企画も彼が仕切ってくださいだったので、生憎直前になって発熱、欠席され、当日は現地に詳しい藤井恒之さんが緩やかな時間配分をしてくださり、全員が無事帰路につくことができました。

関東珊瑚会は2008年頃からML（メーリングリスト）で折に触れメンバーの近況や竹田からの便りなど30数名が1アドレスで繋がっています。しかしスマホの普及に伴ってパソコン離れが少しずつ進み、最近はスマホのグループLINEをスタートさせMLとの併用で連絡や交流が図られています。

かつては忘年会や新年会その他に四万温泉や下田、いわき、湯西川温泉等々、年1回1泊2日の小旅行を2015年頃まで行なっていました。その後コロナの大流行で会の活動もプランクができ、メンバーも80歳を過ぎたことから昨年から関東近県の街歩きが始まりました。

因みに昨年は日暮里にある「朝倉文夫彫塑館」に行き、谷中銀座や谷中墓地を巡ってきました。

参加者…前列左から、佐藤隆尋・工藤錦五・伊豆丸忠夫・佐藤征照・桃溪謙次郎後列左から、岸野聰賢・御沓幸吉・安藤俊和・森信二



した。次はいつ頃どこかの街歩きとなるか、心待ちにしている声も聞こえてきます。

※長寿庵は藤井さんの知り合い（南部中学校の後輩・吉岡敦士さん）のご紹介

昭和37年卒恒例の新年会開催

桃溪謙次郎さん（昭37年卒）

37年卒の今年の新年会は1月29日に開催しました。今年は9名の参加で、池袋のサンシャイン通りのお店で楽しいひとときを過ごしました。写真は会の終了後で皆さんの顔、赤く満足げに見えますね。

令和7年第72回竹田会

後藤里見（平5年卒）

去る令和7年11月6日に第72回竹田会がアルカディア市ヶ谷で開催され、67名の参加者のもと懇親が行われました。会の初めに、竹田会白坂亜紀会長よりご挨拶をいただきました。



次に、土居竹田市長が登壇され、来賓を代表してご挨拶をいただきました。

続いて、服部竹田高校同窓会会長よりご挨拶と竹田より参加された方々のご紹介をしていただきました。

また、竹田市出身の元ボクサー菊池真琴さん（第4代OPBF東洋太平洋女子スーパーバンタム級王者）が、現役引退の報告とこれまでのお礼・今後の抱負を語りました。

懇親会は古庄幸一様の乾杯ご発声でスタートし、終始和やかに

な歓談の時間となりました。

昨年に続き工藤敏暢様が尺八の演奏（古城、黒田節、故郷など）を披露され、最後は恒例の参加者全員による『荒城の月』。佐藤眞史さんのフルート演奏に合わせて歌い上げ、来年の再会を約束して閉会となりました。

第73回竹田会は令和8年11月5日（第一木曜日）18時より、アルカディア市ヶ谷での開催を予定しておりますので、ぜひご参加ください。

【御来賓の皆様】

- 竹田より参加された皆様
- 竹田市長 土居昌弘様
- 在京大分県人会会長 秦喜秋様
- 竹田高校同窓会 服部眞二様
- 学校法人稲葉学園 狩生浩司様
- 大分県東京事務所所長 平川暢教様
- 在京由布市会会長 古野和美様
- 元靖国神社 権宮司 山口建史様
- 広瀬武夫研究家 東京大学 笹本玲央奈様
- 船津純子様
- 服部玲子様
- 山口澄子様



関東41会の集い

中神章彦(昭41年卒)

関東在住41年卒業生で集う「竹田高校関東41会」では、毎年11月に同級会を開催しています。

昨年は新大久保の韓国料理店で開催しました。いつもの仲間、久しぶりの仲間の23名が集い、懐古を温めて楽しいひと時を過ごしました。

また、有志での「41山歩の会」では月に1回、奥多摩、山梨、秩父等近辺の山で日帰りの山歩きをしています。午前9時頃から登り始め、昼過ぎに山頂でおいしい空気を吸いながらゆっくり楽しむランチは心を和やかにします。

また、41年卒業生は、関東、竹田、大分、熊本等各地在住の卒業生で「竹高41会」のLINE



の会を作り、九重山、岡城を始め、故郷の竹田・豊肥地域の情報を共有しています。

昭和48年卒

ゴルフ会

水本忠士(昭48年卒)

南中仲間を中心にゴルフを月に1度、楽しんでおります。スコアは、ほぼどنگり状態ですけど。都さん、直木、私と南中の同級生です。



左から、細田清壽・水本忠士・直木剛・都俊生(関東同窓会会長)

昭和58年卒

「ゴルフコンペ」と「鷹来屋純米酒」を堪能

森純洋(昭58年卒)

ゴルフコンペのあと都町の五十六屋で懇親会を開きました。浜嶋酒造の鷹来屋純米酒と、大

分の美味しい海鮮料理で話もはずみ、終始和やか雰囲気の中で親睦を深めました。



2025年7月19日(土) 浜嶋弘文、衛藤靖彦、小倉英俊、阿南昌彦、野尻恭弘、阿孫尚哉、永野利明

昭和59年卒

「還暦同窓会」

衛藤寛・内川美紀(昭和59年卒幹事)

竹田市役所メンバーを中心に、昭和59年卒業生の還暦同窓会が2025年8月9日に開催されました。

当日は、関東同窓会でもおなじみの阿南(首藤)貴恵さんの軽快な司会のもと、関東同窓会からの参加者も迎え、和やかな雰囲気の中で会が進行しました。高橋忠敬先生にもご出席いただき、また足立一馬先生からはご厚志を賜り、総勢68名が集

う、笑顔と懐かしい語らいにあふれたひとときとなりました。



平成2年卒

「第42期同窓会」

中村良太(平2年卒・在竹田市)

平成2年卒、「第42期同窓会」を令和7年8月10日にホテル岩城屋ダイヤモンドホールにて開催しました。

当日は、遠方からの参加者も多く、総勢83名(恩師含む)の仲間が集いました。今村善行実行委員長から、「令和2年に『卒業30周年記念同窓会』と銘打って開催するはずだったが、新型コロナウイルス感染症が発生し開催を断念した。着々と準備を進めてきただけに、あの時は実行委員一同本

当に悔しい思いをした。皆さんの熱い要望で再挑戦の『卒業30周年記念同窓会』を開催することができ感無量です」と万感の思いを込めた挨拶がありました。

校歌斉唱の後、恩師5名(麻生英征、藤田聡、梅木伸彦、後藤秀敏、阿部正徳各先生)の先生一人ひとりから近況や当時のエピソードを交えた心温かい挨拶をいただき、懐かしい顔ぶれとともに在学当時の思い出話に花を咲かせ、笑いと拍手が絶えない楽しいひと時となりました。

続いて二次会は、おなじみの天神丸福へ移動し60名あまりの参加がありました。同窓会だけでは語りつくせず二次会も大いに盛り上がりました。

そして最後の締めでは還暦同窓会での再会を約束しました。その後は、三次会、四次会?へと竹田のまちを大いに賑やかしてくれました。



平成・令和卒業の若手が 学年幹事に多数参加

学年幹事は、この1年間で左記の一覧のように6名が増えました。特に平成・令和卒業の若手も多数参加していただいたことは大きな希望が持てます。未来に向けて頼もしい存在として活躍を期待したいです。また、

不在の期もありますので、皆さんのお知り合いの中で該当する方がいらつしやいましたら、お知らせください。



学年幹事一覧

卒業年次	氏名	★=新任
昭和27卒	津田 美枝	
昭和28卒	益永 三生	
昭和30卒	用正 靖彦	
昭和31卒	河野 智治	高橋 房枝
昭和32卒	高橋 勝和	藤原 保範
昭和34卒	服部 恭一	市村 真一
昭和35卒	平手 肇	
昭和36卒	吉村 征二郎	
昭和37卒	桃溪 謙次郎	
昭和38卒	続 勝三郎	
昭和39卒	安藤 紀	
昭和40卒	田部 厚	大坂 好美
昭和41卒	中神 章彦	後藤 章一
昭和42卒	堀 正孝	
昭和43卒	甲斐 文夫	工藤 和博
昭和44卒	伊東 忠明	菊地原香代子
昭和45卒	川口 弘展	原田 健治
昭和46卒	日高 慶記	保坂 斎子
昭和47卒	袖須 潔	後藤 和典
昭和48卒	水本 忠士	山村 恵美子
	直木 剛	
昭和49卒	村上 泰子	田北 豊明
昭和50卒	工藤 孝士	佐藤 浩
昭和51卒	佐藤 史紀	鈴木 敬子
昭和52卒	内藤 賢一	後藤 章仁
昭和53卒	宮木 勢	渡辺 隆
昭和54卒	佐保 哲郎	
昭和55卒	垣内 富貴代	板井 浩司
昭和56卒	武内 宏文	岡本 紀子
昭和57卒	佐藤 孝一	干潟 康夫
	森 純洋	柳川 美砂江
昭和58卒	森 雅洋	
昭和59卒	衛藤 寛	内川 美紀
昭和60卒	杏掛 洋三	米野 良恵
昭和61卒	海老納 秀則	
昭和62卒	竹下 賢仁	戸林 知輝
昭和63卒	肥田 雅子	
	廣沢 るみ	波多野寛昭
平成2卒	★鈴木 智子	
平成4卒	首藤 正幸	田島 順
平成5卒	後藤 里見	内田 威
平成6卒	工藤 大	後藤 信秀
平成7卒	古庄 実	
平成10卒	志賀 昭靖	
平成11卒	山口 慶明	井筒 剛司
平成12卒	服部 真太郎	
平成13卒	工藤 一瀬	山口 明
平成14卒	★片山 由圭	
平成15卒	工藤 佑允	
平成20卒	田部 創哉	堀 佑希奈
平成21卒	★志賀 隼哉	
平成22卒	★原田 早希	
平成31卒	★三代 あずさ	
令和7卒	★後藤 知輝	

令和7年度 年間収支

項目	R7年 確定
総会収入	
総会会費	1,360,000
総会祝儀	136,000
売店収入	0
販売手数料	0
小計	1,496,000
総会費用	
ホテル支払	2,210,549
来賓土産/御礼	29,845
持込酒・水代	36,863
本部売店仕入	0
イベント費	100,000
記念イベント	0
会員土産代	0
DVD諸経費	0
印刷費(案内状/プログラム)	107,000
通信費	44,748
備品その他	2,307
その他諸掛	31,850
小計	2,563,162
総会収支	▲1,067,162
(同窓会運営関連)	
維持会費収入	1,357,000
経常費用	
会報費	270,700
会議費	102,495
名簿費	58,840
HP費	47,108
幹事助成金	50,000
組織活動費	48,280
慶弔費	27,357
寄付金	0
新規事業	0
事務通信費	94,796
通信費	5,390
諸会費	40,000
手数料	38,156
荷造運賃	1,740
事務消耗品	9,510
母校支援費	29,964
小計	729,540
維持会費収支	627,460
雑収入	3,833
寄付金収入	0
合計	▲435,869
次期繰越金	3,214,621

訃報

慎んでお知らせ申し上げます、心から冥福をお祈りいたします。

物故者御芳名 ※順不同

2026年3月11日現在

菅 敏様(昭43年卒)	2024年4月1日没
土田多恵子様(昭43年卒)	2024年4月1日没
黒岩 芳子様(昭45年卒)	2024年10月9日没
古澤アイコ様(昭32年卒)	2025年4月21日没
山田多恵子様(昭43年卒)	2024年4月1日没
菅 敏様(昭43年卒)	2024年4月1日没
吉野 幸敏様(昭43年卒)	2024年11月1日没
佐藤 致親様(昭25年卒)	2025年4月17日没
中岡 悌二様(昭27年卒)	2024年7月1日没
松村 陽一様(昭30年卒)	2024年10月28日没
小曾根清子様(昭32年卒)	2024年6月11日没
山村 伊吹様(昭36年卒)	2024年7月28日没
吉武佳一郎様(昭39年卒)	2023年11月9日没
工藤 弘明様(昭41年卒)	2024年11月22日没
西山 洋子様(昭37年卒)	2024年5月23日没
萩原 愛子様(昭29年卒)	2024年 没
後藤 元様(昭37年卒)	2024年11月1日没
和田 知子様(昭23年卒)	2025年4月21日没
衛藤 直頼様(昭28年卒)	2024年1月3日没
内田 豪様(昭31年卒)	不明
児玉 誠様(昭31年卒)	2024年7月16日没
佐藤 浩民様(昭35年卒)	2025年2月9日没
山川 安彦様(昭35年卒)	2024年11月1日没
河野 良子様(昭39年卒)	2021年9月8日没
古川 秀一様(昭40年卒)	2024年3月1日没
河野 智治様(昭31年卒)	2025年5月11日没
河野 弘治様(昭28年卒)	2025年1月21日没
用正ツキコ様(昭35年卒)	2025年6月10日没
宗像 鹿子様(昭35年卒)	2025年12月3日没
末吉 與一様(昭28年卒)	2025年12月14日没
工藤 重徳様(昭31年卒)	2026年1月28日没
坂本 勇様(昭28年卒)	2025年12月3日没
森下 逸郎様(昭35年卒)	2026年2月24日没
桑島 俊治様(昭35年卒)	2025年9月27日没

※事務局へ連絡をいただいた方々を掲載させていただきました。

●連絡先●
〒181-0003
東京都三鷹市北野2-13-22
(広報委員長) 衛藤 淳 宛
TEL 090-9159-7231
FAX 0422-431776

E-mail :
etoj@hotmail.com